

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標		
環境・体制整備	1		6	法令を遵守した適切な活動スペースを確保しております。活動に応じて机や部屋の配置を工夫して快適な環境づくりを努めています。	今後も適切なスペースの確保と環境整備に努めてまいります。		
	2		5	1	基準配置を上回る職員数を保ち、一人ひとりにしっかり関わることのできる体制を作っています。	児童数に応じて今後も適切な人員を配置・確保して運営してまいります。	
	3		3	3	利用児童の特性に応じた視覚支援や年齢発達に応じたものの配置・導線作りに努め、定期的に見直しをおこなっています。構造的に段差は少なく、概ねバリアフリーになっています。	トイレや玄関(1階)に段差があり、外の車庫等の騒音が時々聞こえてきます。バリアフリーには対応していませんが、今後も与えられた環境の中で利用児童一人ひとりの特性に応じた環境作り・配慮を最大限できるように努めていきます。	
	4		6	6	基本的に毎日消毒掃除をし、その都度より良い空間づくりに努めています。		
	5		6	6	身体を大きく動かす運動は基本的に広い空間でおこない、机上課題は個室で集中しておこなえるように配慮しています。		
業務改善	6		6	6	毎日、サービス提供時間前に全職員で集まり、利用児童の支援について話す時間を設けています。また、定期的に会議をおこない、評価や課題分析・日々の振り返りや業務改善についても話し合い、共通理解に努めています。	今後も同様に PDCA サイクルによる業務改善に全職員で努めてまいります。	
	7		6	6	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施し、保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている		
	8		5	1	毎朝の打ち合わせやその都度ミーティングを設けています。		
	9		6	6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10		5	1	毎月事業所内研修をおこない、外部研修もその都度事業所内運営に支障をきたさない程度で参加しております。		
適切な支援の提供	11		6	6	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	
	12		6	6	6	アセスメントを適切におこない、児童の特性や状況、保護者様の意向に基づいて児童発達支援計画を作成しております。	
	13		6	6	6	その都度児童の状況を共有し、対応の検討を全職員で行っております。	
	14		6	6	6	支援前に確認して支援の実施に当たるようにしています。	
	15		6	6	6	標準化されたアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めています。	今後も継続して児童の状況把握に努めてまいります。
	16		6	6	6	児童発達支援ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容が設定された支援計画を作成しています。	関係機関と連携し情報共有に努めてまいります。
	17		6	6	6	活動プログラムの立案をチームでおこなえるようにそれぞれの業務遂行能力を高め時間確保できるように努めています。	
	18		6	6	6	児童の状況に合わせ、個別療育のほか、イベントや毎月の製作・集団活動も取り入れ、活動が固定化しないよう工夫しております。また、療育の中でも児童が内容を選択できるようにしています。	
	19		6	6	6	個別療育を基本とし、適宜小集団での活動や、運動では特に集団活動も取り入れ、児童の特性に応じた支援計画を作成しています。	今後も継続して個別と集団を組み合わせながら、プログラムが固定化しないよう工夫してまいります。
	20		6	6	6	その日の役割分担等については職員間で必ず全職員で確認しております。児童の様子についても共有しながら、共通認識を図っております。出勤時間の都合などでミーティング等に参加していない職員は職員共有ノートで連絡共有をしています。	
	21		5	1	1	勤務時間の異なる職員へは職員共有ノートなどで連絡共有をしています。	送迎などで事業所への帰社時間が遅くなり、その日の内に打ち合わせをすることが難しいことが多いため、翌日のミーティングでおこなっています。
	22		6	6	6	支援内容やその日の体調、様子を記録し、気になったことは職員間で周知し、ミーティングノートを活用して支援の改善などに取り組んでおります。	
	23		6	6	6	定期的にモニタリングをおこない、現状を把握して見直しの必要性を判断しております。	
	24		6	6	6	利用児童の課題・保護者のご意向を基にガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせて職員間で周知していただけるように努めています。	
	25		6	6	6	選択肢を与えて児童に療育内容を選んでもらったり療育開始時刻を相談して決めたりしています。	
	26		6	6	6	対象児童のついでに事前に職員間で話し合い、現状把握のついで、児童発達支援管理責任者が担当会議に参画しております。	
	27		5	1	1	必要時には連携できる体制を取っています。	
	28		6	6	6	学校側から保護者様と確認するよう話し合ったため基本的には保護者様より行事・下校時刻の対応、送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	
	29		4	2	2	保護者様のご意向を確認したうえで、各関係機関との情報共有と、相互理解を深めていけるように努めています。	就学後はなかなか情報共有などが実施できていないため今後検討してまいります。
	30		3	3	3	現在までに該当する児童がいないため、提供には至っておりません。	今後該当する児童が通所する場合には、適切に対応するべく準備をしていきます。
	31		3	3	3	そのような機会はありませんでした。	今後連携できるよう検討してまいります。
32		6	6	6	感染症拡大防止や個人情報保護の観点から外部児童と活動する機会はありませんでした。	今後検討してまいります。	
33		6	6	6	研修は積極的に参加しております。	今後も研修案内があれば必ず参加してまいります。	
34		6	6	6	送迎時や連絡帳のやりとりなどで保護者様と話す機会を作り、児童の発達状況や課題について共通理解を図っています。		
35					事業所の玄関に家族支援プログラムや研修の機会等を貼り出し情報提供をおこなっています。		
保護者様への説明責任等	36		6	6	保護者様に分かりやすいように丁寧な説明をおこなっております。また契約のみならず保護者様のご要望があるときは、再度分かりやすく丁寧に説明しています。		
	37		6	6	6	保護者様のご希望と、児童の現在の状況から将来を考えた支援ができるよう、半年に1回以上定期的にモニタリングを実施しております。	
	38		6	6	6	児童発達支援管理責任者が支援計画の説明をおこない、同意を得て支援をおこなっております。	
	39		6	6	6	連絡帳または送迎時や電話・アプリなどを利用していつでもお話しいただけるように日頃からのコミュニケーションを大切にしています。	
	40		6	6	6	感染症拡大防止の観点から実施してはございません。保護者様の希望もつかないながら、今後検討させていただきます。	保護者様のご理解や、プライバシーに配慮しながらのご意向を踏まえ、交流の機会を検討してまいります。
	41		6	6	6	より安心してご利用いただけるよう職員間でも情報共有し、対応していただけるようにしてまいります。	
	42		6	6	6	コンパスだより年4回と事業所だよりを毎月発信しています。	
	43		6	6	6	個人情報保護は鍵付き書庫にて保管しています。今後も取り扱いは注意を払ひ、書庫の施設管理記録簿も作成し管理してまいります。	
	44		6	6	6	保護者様の状況、児童の発達状況や課題に応じた配慮を心がけ、意思の疎通や情報伝達に努めています。	
	45		6	6	6	感染防止のため実施してはございませんが、反対に地域のために来所していただく交流機会を設けました。	昨年度は夏休みに交流機会を設けましたが、コロナが増えたため中止になりました。今年度は招待までできていませんが交流機会を設けることができました。
非常時等の対応	46		6	6	6	各種マニュアルは玄関に提示し、ご覧いただけるようにしています。また、定期的に児童とともに避難訓練を実施しております。	
	47		6	6	6	避難訓練は児童も参加し定期的に実施しております。事業所だよりにて当日の口頭や連絡帳記載にてお伝えし、次月の連絡帳カレンダーを通じてご紹介しております。	
	48		6	6	6	アセスメントで丁寧に取り置き、職員全員で周知徹底しています。	今後も同様に児童の情報を更新しながら、現状把握に努めてまいります。
	49		6	6	6	現在指示書がある児童は在籍していませんが、アセスメントや保護者様に確認をおこない、利用児童のアレルギーについては全職員が把握し対応できるようにしています。	今後も同様に児童の情報を更新しながら、現状把握に努めてまいります。
	50		6	6	6	避難場所や避難訓練については定期的にお知らせしています。	
	51		6	6	6	児童と職員の安全を守るためにおこなう、やむを得ない身体拘束については説明・同意を得ております。	
	52		6	6	6	ヒヤリハット事例が発生した場合、詳細に記録し、職員間で共有しています。定期的な振り返りをおこない、再発防止と事故の未然防止に努めています。	
	53		6	6	6	事業所内外で職員研修への参加・実施をし虐待防止について周知に努めています。	今後も継続して虐待防止研修を行い、外部研修へも積極的に参加してまいります。
	54		6	6	6	利用契約書には身体拘束の禁止を記載しております。身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ております。	今後も引き続き研修をおこなってまいります。

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。